



川崎愛児園 さくら

2023.13号



発行

社会福祉法人川崎愛児園
児童養護施設川崎愛児園
発行月 令和6年3月

住所

〒216-0035
神奈川県川崎市宮前区
馬絹1丁目24番5号
TEL: 044(855)2591
FAX: 044(865)4445
mail: kawasaki@aijien.or.jp

印刷

野崎印刷紙器株式会社

広報誌 さくら



理事長
白戸 隆

日頃より当法人が運営する事業に対しご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

子ども達や職員は、地域の皆様との繋がりが何よりも大事であり、よき理解者としておつき合っていて頂いていることで安心して生活ができております。ここでの地域とは、近隣の地域や社会的に繋がっている、直接・間接的に関わりを持つているすべての方々であり、「人としての必要な栄養や生活の質を高めて頂いている」と常に感謝しております。

令和6年4月より新たな事業として、地域小規模児童養護施設「東有馬叶芽ホーム（ひがしありまかなめホーム）」を開設することになり

ました。「かなえる・め」と書いて職員参加のもとで決めました。有馬は所在地の地名で地域の一人として迎えて頂けるようお願い冠にさせて頂きました。併せて、自立援助ホーム「大志」も隣接地に転居する予定です。法人の理念である「地域のなかでの子育て」を継続して具現化し子ども達の幸福のため頑張つて参りますので引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年能登半島地震により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。川崎愛児園としては職員の派遣を1月19日より1月26日まで致しました。報告を聞きまだまだ支援が必要であり、整備復興が一刻も早く望まれていることが分かります。僅かではありますが、職員と子ども達で川崎市社会福祉協議会を通じ義援金をお渡ししております。復興にはまだ時間がかかるので引き続きの支援に協力をしていきたいと思います。



～新規事業 地域小規模東有馬叶芽ホーム開所・自立援助ホーム大志移転のお知らせ～

2024年4月から川崎愛児園の4つ目の地域小規模児童養護施設として、東有馬叶芽ホームが開設いたします。

「それぞれの夢を叶えるために、いっしょに希望の芽を育てよう」

そのような子ども達への想いを込めて、このホームを「叶芽」と名付けました。

子ども達の心に、困難に負けな心芯の強さを持った希望の芽が育つように。いつか社会に出た時に、それぞれの夢が花開くように。6人の子ども達と大人が、相手を思いやりながら共に暮らし、地域の中で様々な経験をすることで、共に育ち合うホームを目指します。

麻生区にあります自立援助ホーム大志も2024年4月に移転いたします。



法人の基本理念

当法人は命の尊さを大切に、愛情をもって社会福祉事業を効果的かつ適正に行い、地域社会への貢献に努めます。また、地域社会の中で「将来を担う子どもたちへ」の質の高い養育及び子育て支援を目指します。さらに、事業経営の透明性と健全な経営を目指します。

「命を大切にすること」

「地域の中での養育と子育て支援」

「健全な経営」

施設の基本方針

児童一人ひとりが命を大切にすることをもち、心身ともに健康で調和のとれた人間として成長し、健全な社会人として自立した社会生活が営めるよう支援します。また、施設機能の専門性を活かして地域社会に協力します。

1. 一人ひとりの心身の成長に努めます
2. 一人ひとりの尊厳を維持し人権を擁護します
3. 一人ひとりの幸福のために支援します
4. 自立した社会生活が営めるように支援します
5. 施設の社会的、専門的役割を果たします

養護目標

社会的養護を必要とする入所児童に対しての基本目標は次の通りです。

1. あいさつの正しくできる人に
2. 健康な体と心をもてる人に
3. 人に好かれ、社会に役立つ人に
4. 感謝の気持ちをもてる人に
5. 人との調和がとれる人に
6. 思いやりのある人に
7. 基本的な生活や自立した生活ができる人に

養育者の覚悟をもって

川崎愛児園 監事 落合文雄



世界各地での戦争や国内での相次ぐ自然災害、と大変な時代を生きていることとなりました。どう生きるか、誰もが自分の将来に不安を抱くことになってしまいました。つい先ごろまでは、国連提唱の「誰一人取り残さない持続可能な社会の創造計画」に新世代の人類の夢が実現すると、心を弾ませたばかりでした。

このような時代には、世相は荒れてきます。物価高と苦しくなる家計、崩壊する地域社会や家族の絆、仕事につかない若者の増加、犯罪の激増すら予想されます。

これから法人の施設を築立つ子ども達には、一層過酷な社会環境となりそうです。孤立無援にならないよう、残された期間をしっかり使い、お金のことや生活の仕方、危険への対処など、どう生きていくかなどを勉強することが大切です。生きてきたこれまでの環境に全力反発することより、どうすれば自分らしく生きられるかを職員と真剣に問い、話し合う、そこが自立への一歩、近道だと思えます。どうか、「私には、いつでも帰れるホームがある」と、確信して巣立っていただきたい。

能登の被災地に、国・市の派遣要請を受け、理事長は1月中旬、市内でトップに名乗りを挙げ、川崎愛児園の指導員を派遣した。これからも様々な被災地からの支援要請があれば、地域養育を担う川崎市の専門施設としての活躍を期待します。

子どもたちの社会的養育を担う法人の役割として、さらなる養育支援のレベルアップと広域的活動が期待されていると覚悟しましょう。



支援者のご紹介

川崎愛児園に継続的なご支援をしてくださっている方々をご紹介します。

愛児園によせて

初山幼稚園 園長

町田順文



今から二十年前、川崎市は市立の幼稚園を全面廃止し、すべてを市の私立幼稚園に任すことになり、愛児園も近くの幼稚園に任されることとなりました。最初は近隣の幼稚園数園で受け入れておりましたが、今では全員当園で任されています。のべにするとトータルで百人を数えるくらいになると思います。愛児園まつりやクリスマス会に呼ばれたときなど、園の卒業生に会うとその時の担任の先生の話になり、幼稚園時代を懐かしみ話題に花を咲かせます。みんな愛児園が好きで人なつくく無邪気です。これからは少しでも、園のお役に立てれば嬉しいと思います。



地域と共に歩む学校

宮崎小学校 校長 西田 裕子



去る十二月二日、穏やかな晴天に恵まれ、本校百五十周年記念式典を挙行了いたしました。当日は、川崎市長をはじめ、地域の皆様、学校関係者の皆様に多数ご来校いただき、子供たちの姿をご覧いただきました。

「自分 友だち 宮崎 大好き たからもの」を合言葉に、これまで教育活動をすすめてまいりました。私から「みんなの『宮崎 大好き』を会場の皆さんにたくさん伝え、たくさん共有しましょう」と伝えました。

式典前半、一年生は「がっこうだいすき」、二年生は「みやぎのひと・まち たからもの」、五年生は「トレジャーハンターSDGs探検隊」と題して、宮崎小や宮崎の地域に目を向け、その魅力を伝えました。

後半は、三年生の「ひびけ！伝統！みやぎばやし」の演奏に始まり、四年生の「きつと見つかる！新しいみやぎ」でさらに宮崎の魅力を披露しました。最後は六年生の「歴史をつなぐ！未来の宮崎」で過去があつて今がある、未来へ引き継ぐのは自分達だという強いメッセージを発し、記念歌「つなげる思い」を校歌と一緒にあわせて歌い、締めくくりました。

たくさんさんの「宮崎 大好き」を皆様と共有できたことは、子供たちにとって素晴らしい経験となり、まさに地域と共に歩み続ける学校であることを皆が実感した瞬間でもありました。

準備を進めるにあたり、地域の皆様の熱い思いと温かい支援をたくさん受けることができました。百五十年という歴史は、地域の皆様の力によって築かれてきたものです。この町には、地域協議会のように地域と学校をつなげ、人をつなげる様々な力があります。その力に守られながら、子供たちが健やかに成長していけるよう、学校も努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いたします。



学習支援を担当して

学習支援担当 藤井 幹夫



川崎愛児園が最近、力を入れて取り組んでいることの一つは、子どもたちへの学習支援だと思えます。私も学習支援のお手伝いをさせていただいて、一年半ほどになります。

当初は、4つの学童ユニットで、学校から帰って来た小学生たちの宿題の支援などや、進路課題のある子どもたちの個別支援などを行いました。

その中で、学習の基礎力や学習の習慣をしっかりと身につけることが子どもたちの将来にとって、とても重要なことを改めて実感し、特に、学校教育が始まる小学校1年生の時期と、学習内容の質も量も大きく変わる小学校から中学校にかけての時期の大切さを知り、昨年の春以降は、幼児ユニットの子どもたちに就学前の学習支援にも取り組まれました。

本園の2つ幼児ユニット、あわせて10名の幼児たちを対象に、週1回30分間、運筆（鉛筆で図形をなぞる）、簡単なクイズ（この絵の陰はどれか？など）や、年長の幼児たちには簡単な数字やひらがなの練習プリントに取り組んでもらっています。初めてのことに好奇心を持ってくれているようで、またユニットのみんなで一緒にやることもあってとても楽しみにしてくれています。小学校の勉強イメージが楽しいものになってくれたらと期待しています。

それから、昨年の秋以降は、中学1年生、小学校6年生の個別支援にも取り組ませてもらっています。小学校はどの教科も同じ担任の先生から教わり、成績づけも担任の先生がその子の様子を長い目で見て行いますが、中学は、先生が教科ごとに変わり、成績も主に定期試験で決まります。小学校では担任の先生についていけばなんとかなりますが、中学は勉強量も増えるし、自分で学習を計画的に進める力、つまり、学習習慣や管理能力を身につける必要が出てきます。

加えて、愛児園には、様々な課題を背負い、それに応じた支援が必要な子どもたちもいます。そこで、小学生から中学生に変わる重要な時期に、将来の進路も見通した上で、自分の学習上の課題と向き合ってもらい、それを個別支援の形で側面から応援できたら、という気持ちで取り組んでいます。

通りすがりのおじさん・おばさん役で

一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク

代表理事 江口 義実
専務理事 加藤 孝子

愛児園さんとは2011年の秋頃よりご縁あって、子ども達の日々の成長を応援させていただいております。また、白戸理事長をはじめとする職員の皆様の心意気、子ども達への情愛の深さ、地域やボランティアの皆さんとの親交をととても大切にされていることなど、多くのことを学ばせていただいております。

私達は、子ども達と関わる中で、常に「人生の通りすがりのおじさん・おばさん」でいたいという気持ちを大切にしています。これは、子ども達にとって、親や兄弟、親友、施設の職員さんのような重要な関わり方ではなくても、「そう言えば、あんな大人達いたよね」というような、通りすがりの思い出の一部分になれたら良いよね、きつとそれも彼らの心の育ちに必要なるかもしれないね、と言う気持ちから生まれたものです。

このような気持ちは、幼少の頃に体験するであろう感情を子ども達に再体験してもらおう取り組みに繋がりました。赤ちゃんも生まれながらに、お母さんとのアイコンタクトやおっぱいを求める情愛のやり取りで、愛情を育む術を持っています。そして、やがては自分の気持ちを言葉にしながら他者と関わっていきます。私達の取り組みは、このような、育ちの中で他者との関わりで自然と身に付く「気持ちを言葉にする」経験を、ボランティアさんや地域の人達と関わり合いながら、おたのしみ交流サロンや交流新聞、おたのしみ日記等を通じて、子ども達に再体験をしてもらっています。私達は、これらを他者との関わりの中で「何かを感じる力」を育んで欲しいという想いで「感情基盤」と呼んでいます。そこには、正解不正解もなく、生まれた気持ち（感情）を充分に感じて、何かを伝える、そして受け止める・・・そのような育ちの中で誰もが通ってくる情愛のやり取りを具現化していくことでこれからも子ども達にとっての「通りすがりのおじさん・おばさん」としての役目を担っていきたいと思っています。





令和5年度 ご寄附者様一覧

日頃よりご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

尚、一部お名前が分からず姓のみとさせていただいている方もいらっしゃいますがご了承下さい。又、掲載許可の連絡が取れない方に関しましてはお名前を控えさせていただいております。

お名前に誤字・脱字等ございましたら、ご一報・ご指摘下さい(順不同・敬称省略 令和5年12月31日現在)。

個人

手塚勝也 太内義明 瓜田緑 平岡京子 嘉山兼則 平林茂 落合文雄 出澤健一郎 庄司和子 石川誠・洋子 安藤高久 目代由美子 松本亜鐘 小島喜芳 山川洋子 吉田薫 幸山真理子 織茂耕治 中村布佐子 青木隆 住職・安藤秀岳 浅岡栄 立原希哲 秋岡正男 佐野悦雄 松本良保・馨子 上地雄輔 小関博之 吾妻具和 中野徹 寺澤宣法 大田裕美 藤木淑子 福世明子 安藤詳一 青木寅治 山川信雄 谷山徳法 勝野由美子 安藤あゆ子 下岡朋子 黒田ひとみ 宮部弘美 片山美夜子 内田塔子 門司一徹 近藤慎之助・由美子 都倉準一 桜井英雄 平本茂 伊藤陽一 吉村房子 二ノ宮圭子 川畑藍 堀由紀子 宇都榮子 中里文雄 夢ら丘実果 小林恵子 吉村伸江 吉澤道子 三倉圭人 中澤圭輔 畠山卓士 岩田弘枝 高橋えり子 山内一弘・多恵水野明仁 松井恵利奈 武本貞子 坂本令子 岩佐清子 申けいこ 三上貴美 鈴木陽子 入口満子 松原英理佳 瀧直実 中林豊 小長井浩子 渡辺慶子 高木龍 鈴木悠雅 吉田久美子 窪田麻里 市成誠司 御宮知章子 弦巻志保 権丈信子 江添英樹 荘洋子・清二郎 平山美樹 林田茂泰 笠原勤一 太田浩一 岩壁信行 森山隆 白戸隆 杉山直也 小林佳子 鈴木尚貴 田中英治 加藤朝美 斉藤雅子 鈴木靖子 神谷ひろ子 高野繁茂 谷乃ノ葉 白土英一朗 伊藤なおみ 溝口浩司 林めぐみ 栗木志子 安達憲一 田島京子 新夢美穂 市川安紀 加藤海輝 鈴木厚太 衣笠葉 松井由紀子 中津裕子 田代浩潤 鈴木映弘 片山生葉 佐藤侑奈 咲本祐美子 廣明里 村井昇 四宮慎太郎 安部正和 齋藤文護・邦子 井本剛司 松浦明彦 池川禎一・准子 高野真悠子 小浪紀子 多田裕太 高田真琴 垣谷江里子 鈴木敏夫 瀧澤祐子 持田カズ子 杉原博 紺野一元 富所明秀 金谷敏行 三浦雅信 大久保望 吉田ともこ 山田直子 吉村博 小川巖 藤田愛 柏崎恵美子 金子あかね 坂井マズミ 五十嵐隆一 吉田秀雄 田中真弓 櫻井穂高 山内真妃 山口愛莉 山田初江 伊藤啓子 伊藤友子 中尾明美 酒井範子 黒田愛佳 荒井セツ子 土屋敏子 廣瀬綾奈 中島紀夫 佐野圭子 平井みゆき 横田恭子 中村敦子 吉田正樹 三好義仁 堤由惟 松井由紀子 橋本和也 重谷智香子 村木健一 安達 山根山田 吉浜 水科 社会福祉法人川崎愛児園職員有志 他 匿名多数

団体

川崎市長 川崎市社会福祉協議会 神奈川福祉事業協会 こども元気!内科クリニック 読売新聞川崎読売会 公益財団法人毎日新聞東京社会事業団 大和リース 有馬療養温泉 三菱ふそう労働組合本社支部 三菱ふそうトラック・バス(株) (株)朝日ホーム 紫虹会少年部 ルミエール小児歯科 川崎富士見ライオンズクラブ 日本乳化剤(株) 白戸ホーム ヒラノ商事(株) 宮崎小学校 宮崎中学校 野川小学校 野川中学校 橘小学校橘中学校 生田小学校 生田中学校 初山幼稚園 ぶちラルジュ会 宮前平医院 (株)SL Creations(旧社名:(株)シュガーレディー本社) (株)カレンズ 代表取締役 木村仁 北信土建(株) 高島屋労働組合玉川支部 (株)チュチュアンナ ガイア川崎店 ガイアらくらく館 青木萬吉商店 (株)ファー・イースト・ネットワーク 井上ラジオ 吉兆野川店 リ・ケア福祉サービス 特別養護老人ホーム等々カ オリモファーム 三橋園 プレーン Curves(川崎鷺沼店・川崎宮崎台店・センター北店・センター南店・横浜吉野町店・横浜綱島店・港北新羽店・横浜すすき野店・溝の口店・稲田堤店・市ヶ尾店・江田駅前店・川崎津田山店・マルエツ川崎宮前店) 日本鏡餅組合 (株)サニクリーン東京 (株)エヌアセットホールディングス 一般財団法人チャイルドワン理事長 中村憲剛 田園調布雙葉学園中学高等学校エリザベット会 遠藤環衛(株) (株)ライオン事務器 神奈川トヨタ自動車(株) すぎのこ福祉会 こどものいえもも保育園 フィリップモリスジャパン(株) (株)宮前関口電機 代表取締役 近藤淳一 川崎市歯科医師会 城南信用金庫宮前平支店 川崎市馬絹郵便局 川崎野川郵便局局長小泉明 川崎鷺沼郵便局 ワールドメイト (社)神奈川県養豚協会理事長 山口昌興 ショップカド 丸井川崎店 (株)ドリマックス・テレビジョン(ドラマ本部) (株)しむら代表川崎雅代 クボタ眼科 一般社団法人ソーシャル・アーティスト・ネットワーク 奥野設計 (株)エルプラス (株)ガイアフィールド (株)スチールホームジャパン 東芝労働組合小向支部 東芝労働組合本社 コストコホールセールジャパン(株) 一般社団法人神奈川県馬主協会 (株)UYEKI (株)伊藤園神奈川西地区営業推進課 東京電力常備労働組合 東急百貨店グループ労働組合 宮前平グリーンハイツ自治会会長平子瀧夫 グリーンハイツ手づくりの会 十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科 (株)Daska&Desiree(旧社名:ダスカジャパンファウテモック) NPO法人 RISE JAPAN (株)茂園 東京福祉大学 リハビリホームくらら鷺沼 日本農産工業株式会社 カネコ文具店 東洋大学 梅原農園 (有)ウエハラ新聞舗読売センター宮前梶ヶ谷 認定特定非営利活動法人ハッピーステップス (公社)全日本不動産協会神奈川本部川崎支部支部長出口賢造 東京医療専門学校 鶴見大学短期大学部 浜友観光(株)楽園(浜松本社・溝の口店・川崎店・港北センター店) (株)大和人 高志保博孝 株式会社プレナス あいおいニッセイ同和損害保険 (株)MS&ADゆにぞんスマイルクラブ 日本出版販売(株) 楽天(株)楽天サンタプロジェクト アーバンロケサービス 一般社団法人川崎地域自治研究センター (株)アパマンショップネットワーク 明治安田生命保険相互会社 神奈川県運動具商協同組合 宮前区社会福祉協議会 宮前第3地区社会福祉協議会 宮前区主任児童委員部会 馬絹町内会 小台町内会会長安藤雅教 神奈川県社会福祉協議会 神奈川新聞 日能研 全国シャンメリー協

同組合 横浜西ロータリークラブ ギャップジャパン(株)コーポレートコミュニケーションズ 一般社団法人日本児童文芸家協会理事長 山本省三 (宗)日蓮宗親道山慈照寺 常葉寺 (株)ajetjapan代表取締役長澤健太 株式会社ハイパーフィットネス代表取締役 亀田政幸 宮前区更生保護女性会 川崎鷺沼ロータリークラブ オシャレ工房KBN株式会社代表取締役 齊藤越鳴 岡田会計 岡田玲子 大学不動産連盟 日本フィルメニッヒ(株) ムーンバット プレム・ラワット日本事務局 合同会社文屋代表 木下豊 株式会社三菱東京UFJ銀行鷺沼支店 高津○ネットあつぷる溝の口 NPO法人NGOフク21ふらっとホーム グランフィールズカントリークラブ代表杉山孝 読売センター川崎駅前所長 酒井通雄 (株)富留屋古賀音庵取締役専務 大堀裕 宮前警察署生活安全課 (有)フルーツガーデン関本 関本典子 東京サンブライ(株)本多利彦 有馬鷺沼地区社会福祉協議会会長 鷺沼小学校PTA 柿生駅前ファミリー歯科 マツダ(株) そめや内科クリニック 全日本不動産協会神奈川県本部川崎支部 日本トラスティサービス信託銀行(株) 社会福祉法人神奈川県共同募金会 関東アイスクリーム協会 川崎労働者福祉協議会事務局長 成田仁 (株)公益社たまプラーザ会館 一般社団法人 川崎青年会議所 向ヶ丘第五次自治会 (株)セレモニアあつぷるケアプランセンター溝の口 平安会館みやまえだいら 公益財団法人 報知社会福祉事業団 オメガクリエイティブデザイン(株)中村薫 有限会社紀之国屋商店ゆうたんのほっぺた代表取締役 新谷優樹 銀座ふれ愛パーク(株) (株)セント代表取締役 清水弘之 キコーナ溝の口店店長 岩尾裕樹 Over40 united パークホームズHR会・おうち英語の会 (公財)資生堂社会福祉事業財団 積水ハウス川崎支店 合同会社rakusou NPO法人カワサキミュージックキャスト 株式会社三笠(代表取締役社長 甘利茂伸・取締役 磯村典子) パーソルテンプスタッフ(株) (公社)生命保険フィナンシャルアドバイザー協会 ほほえみの和 陽だまりの会 コロナと戦うボランティアマスク作り倶楽部(代表 須藤紀子) ひかり鍼灸整骨院(後藤光弘) (株)フレーベル館 出版本部 末日聖徒イエス・キリスト教会 日本コカ・コーラ株式会社 社会福祉法人緑成会 新緑の郷 有限会社メディカル・ロード 井筒ハッ橋本舗 (株)たかくら新産業 (株)ベルン (株)ハンズ 社会福祉法人新日本学園 ホリカフーズ株式会社 一般社団法人F-connect ありさんプロ株式会社 代表取締役 吉田明廣 一般財団法人日本サッカー後援会 理事 芳賀淳一 一般財団法人 共栄財団 (株)ウエディングジョブTHE NEIGHBORS 土橋町内会 株式会社アマナ 渡邊昭夫税理士事務所 合同会社 Clarus 合同会社ADAMAS amazon 犬塚ふえKimama83 増田幸枝 大和葬祭 (有)クリオホーム 横浜キワニスクラブ 川崎花卉園芸株式会社 取締役 笹嶋洋平 ひまわりクリニック ユースキン製薬株式会社 代表取締役 野渡和義 公益社団法人JEO・子どもに均等な機会を REWIND高畑 ドミノピザ246号店 店長 大平拓人 株式会社シーエスデー清水恵 一般財団法人 絵本未来創造機構 川崎市男女共同参画センター(すくらむ21) 株式会社有隣堂 神奈川県民共済生活協同組合 吉本興業(株)兼近大樹 自主保育BBだん 一般財団法人 日本児童養護施設財団 アフターケア事業全国ネットワークえんじゅ 川崎市社会福祉協議会児童部会 株式会社セレモニア(七五三) はたけベーカリー NPO法人リナフル菅田恵美 (株)アイ・ディー・エクス西村友二 (株)アンフィニュー TIME is Love 石森美智代 ニチイホーム鷺沼南 飛鳥ジャパン労働組合 128人のサンタクロース アールクワールテクノロジー株式会社 至誠館さくら乳児院

奨学金関係

社会福祉法人全国社会福祉協議会 社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会 川崎市給付型奨学金 日本学生支援機構奨学金 一般社団法人ozawaいつもありがとう協会 タイガーマスク奨学金 公益財団法人神奈川県厚生文化事業団 一般財団法人ゼンショーかがやき子ども財団 一般財団法人みらいこども財団 萬谷児童福祉基金 ENEOS奨学助成 児童育成協会 赤い羽根福祉基金

その他

愛児園祭りバザー一品寄附：沢山の方々のご協力に感謝申し上げます。

お礼

いただいた寄附金は地域向けの居場所事業や退所児童のアフターケアのために役立たせていただいております。誠にありがとうございます。

～川崎愛児園祭り実施報告～

今年度も感染症対策に気を付けながら
無事に実施することが出来ました。

地域の皆さまも沢山ご来場くださり、ありがとうございました。

来年度も 10 月に愛児園祭りを開催予定としております。

日にちが確定しましたら当HPにてお知らせ致します。

また、ご好評いただいておりますバザーの献品の募集に関しても
当HPにて今後お知らせ致します。ぜひご協力をお願い致します。



本園だより

幼児フロア

つばみユニット

今年度は2歳1名・年少1名・年中2名・年長2名・小学1年生1名の計7名での生活が始まりました。男の子6名・女の子1名のメンバーでもとも元気良く、毎日過ごしています。幼稚園生も就学に向け、意欲的に鉛筆を持つ練習や字を書く練習を積み重ねています。

みんなで協力し、助け合うことができることも優しい子どもたちと温かい雰囲気と思いやりを大切にこれからも毎日楽しく過ごしていきたいと思えます。

わかばユニット

今年度は2歳2名・年少1名・年長1名・小学1年生1名・小学3年生1名の計6名で始まり、内3名が今年度からの入所となっております。心機一転し、より元気なユニットになっていきます！

みんなで決めた目標は「元気いっぱい、ありがとうが溢れる仲良しのわかばユニット！」にしました。年間を通して心地の良い時間・成功体験の積み重ねを大切にしながら毎日楽しく過ごすことが出来たと思っています。



学童女子フロア

れんげユニット

幼児フロアから小学2年生の1名を迎え、小学生5名・高校生2名の計7名でスタートしました。小学生が多いこともあり、ユニット内はとても明るく元気いっぱいです。

高校生も学業とアルバイトがあるので生活する時間帯は違いますが、時間が合えばリビングで食事を摂ったり、小学生の面倒を見てくれることもあり、助け合いながら過ごせた1年でした。

すずらんユニット

幼児フロアから小学2年生の1名を迎え、小学生3名・高校生3名の計6名でスタートしました。小学生が3名なので職員と個々の時間を過ごしたり、れんげユニットに遊びに行ったりと元気に過ごしています。高校生はアルバイト等ではなく時間帯が合いませんでしたが、施設行事で高校生が引っ張ってくれている姿や小学生と協力し合って頑張っている姿が見られ良い光景でした。大受験をした児童は結果が美りとても喜んでいました。それぞれが勉学やスポーツに頑張っており、1年です。



学童男子フロア

あおばユニット

幼児フロアから小学4年生を1名迎え、今年度は小学生3名・中学生2名・高校生2名の計7名での生活をスタートしました。家庭復帰・退所・進学を控えた児童もおり、自立に向けた身辺自立や志望校合格に向けた勉強等各々の課題に日々全力で取り組んでいます。あおばユニットでは相手を思いやる優しい言葉掛け、そして体を動かして元気いっぱい遊ぶことを目標として年間過ごしてきました。出来たと思えます。

ふたばユニット

今年度は小学生2名・中学生3名・高校生2名の計7名での生活をスタートしました。高校3年生は進学に向けて気になる大学の説明会に参加しています。中学生は初めての部活動に戸惑いながらも毎日一生懸命頑張っています。ふたばユニットでは勉強を頑張ること、時間を意識して生活する事、そして相手を思いやる優しい言葉掛けが出来るようになることを目標として年間過ごしてきました。



ホームだより



り、学校行事や施設行事が少しずつ復活してきています。ホーム内でも日常を楽しみつつも時には皆で楽しむことのできる工夫を行ってしました。それぞれが自分らしく過ごしつつもお互いのことを思いやって生活していけるような温かいホームを今後も目指していきます。



地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム

すみれホームは小学6年生男児・中学2年生男児・高校2年生女児・高校3年生女児2名の計5名で生活しています。1番低学年の児童が小学6年生という高学齢のホームとなりました。高学齢児が多いこともあり、皆それぞれ自立を見据えて日々努力している姿が見られています。

今年度は新型コロナウイルスの影響も少なく



地域小規模児童養護施設 野川すみれホーム

今年度つくしホームは小学生2名、中学生3名、高校生1名で生活しています。その内1名が新規入所、2名が中学校入学と期待と不安が入り混じったの新年度スタートとなりました。小学生は毎日のように外に遊びに行き、中学生は勉強と部活の両立、高校生はアルバイトと忙しさもありながら毎日楽しく過ごしております。

施設行事も積極的に通り組んでおり、個々で賞を頂けた子もいたので、頑張った取り組みできたことが結果として結び付き喜んでいました。年間を通して、楽しんで過ごすことや自分のできることを増やしていくことを目標にして頑張ることが出来た1年ではないかと思えます。



構築していくことが重要になります。簡単ではありませんが、何気ない楽しいやり取りが当たり前に行われ、ホームがゆったりとくつろげる環境でいられるように整えています。

児童自立援助ホーム 大志

現在は高校生4名、短大生1名の5名で生活しており、全員学籍者です。学校やアルバイトに日々目標を持って取り組んでいます。3ヶ月毎に入居時に決めた目標と一緒に確認し、毎月行われるホーム会議で、生活のルール等皆で意見を出し合いながら話し合いをしています。支援するスタッフ側と自立に向けて歩んでいく利用者側との生活の中で、少しずつ信頼関係を



地域小規模児童養護施設 生田あやめホーム

あやめホームは小学2年生・小学4年生2名・中学1年生・高校1年生・高校2年生の6名の女の子で生活がスタートしました。小2・小4・高1の3名は4月から新しくあやめホームに入りました。小学生は公園やこども文化センター等で活動的に遊んでいます。中学生は初めての部活や試験や塾と新しい事に沢山挑戦しています。高校生はアルバイトを頑張りたいと張り切っています。ホームの皆で日々のちょっとした事を楽しんだり、行事やイベント等に参加して1年間を通して楽しい思い出を沢山共有することができました。



児童自立援助ホーム こもれび

こもれびホームは開所して3年が経ちました。今年のスローガンは「いつも笑いの絶えないこもれびホーム」です。

現在高校生4名、看護学生1名、就労1名の利用者が生活しています。各々が高校卒業や、自立に向けたアルバイトや仕事を頑張っています。ホームとしては「コミュニケーション」を一番大切にしています。社会に出る不安や仕事が出るか等の不安は日頃からコミュニケーションを取り、悩みながらも相談できる関係性を意識しています。日常生活では余暇活動の時間も大切に、夏にはバーベキューの計画も立て余暇も楽しみながら各々が孤立しないようにしています。

自分を好きに

安藤 あゆこ



本読みと貸出のボランティア「コスモス文庫」の一員として、皆様とのご縁を頂いて8年になりました。毎週水曜日に子どもたちと過ごす時間はいつも発見や感動があり、この幸せな出会いに感謝しありません。早速ですが、最近の嬉しかったエピソードを2つご紹介いたします。

『どうながのプレッツェル』ダックスフントのプレッツェルは、グレタのことが大好き。積極的にアピールしても、いつもつれない態度を取られてしまいますが、ある時グレタの窮地を救い、めでたく結婚というハッピーエンドで終わります。一緒に読んでいたAくんも幼稚園に好きな女の子がいるそうで、私が「〇ちゃんに結婚してもうつにはどうしたらいいのかな?」と聞くと、「え?このままでいいんだよ!」と自信満々。「え、そうなの?」「うん!いつもいっしょにいて、いつもいっしょにあそんでるから!」「好き同士なんだね!」「うん!」最近恐竜に興味津々のBくん。恐竜の図鑑を見て、ひとつひとつ名前を聞きながら何を食べるの?と質問してきます。肉食恐竜が続いていたので、私がBくんのほつぺを触って「こいやわらかいから、おいしそうだなあって食べられちゃうんじゃない?」と言ったら、「うん、かわいいおかおはたべないの!」

こうしたやり取りを通して素晴らしいと感じたのは、二人が「自分は自分でいい」「自分はかわいい」と思っているところ。これは職員さんや幼稚園の先生方など周囲の大人たち、共に生活している仲間たちに受け入れられている安心感の表れに他なりません。愛児園の子どもたちを取り巻く環境の温かさを感じて胸が熱くなりました。

誰しも自分を好きになるのは容易なことではありません。悩み、迷いながらも、子どもたちが自分の好きなこと、得意なこと、大切にしたいことを見つけて自尊心を育てて行くよう、これからも一緒に読んだり、話したり、遊んだりして行きたいと思えます。

生きる力を身につけるために

瀧 啓明



1年半ほど前から学習支援ボランティアをしています。私がまずきっかけからお話しします。私は宮前区土橋に住んでいるので愛児園の付近は何度か通ったことがありました。愛児園は幼稚園などではなく児童養護施設だということを知っていました。それがそれ以上の関わりはありませんでした。

その後、ある雑誌で児童養護施設の記事を読んだのですが施設においても職員不足等の事情で十分な養護ができていないと書かれていました。自分にも何かできることがあるのではないかと考え、学習支援ボランティアに応募したのが最初のきっかけです。なお自分にとっての職場と家庭以外の居場所にもなるかなという思いもありました。

活動としては小学校六年生の男子と週1時間勉強するのですが、前半30分は算数、後半30分は一緒に新聞を読むことにしています。対象児童は算数が嫌いなのですが、30分だけは何とか頑張つてやってみてもらっています。その後は「早く新聞読もう!新聞!新聞!」と目を輝かせます。単に新聞記事を読んで理解するだけではなく、同じ事象が昔だとどうなのか、外国ではどうかといった具合にその時の興味の赴くままに縦横無尽に語り合います。必要に応じて地図帳を見たり、スマホで画像を探したりします。社会とか理科といった科目の分類は学校が決めたものでしかなく、本来の学が喜びというのはこういった形で物事を多面的に見ていくことだと思います。

私はあるNPO法人に参加してそちらでも児童養護関係のボランティアをしているのですが、その法人の関係者が「子供たちに生きる力を身につけさせることが重要だ」と言っていました。学習支援も「生きる力」の涵養につながるはず。全国で児童養護施設入所者は約45,000人で、そのうち私が担当しているのは一人だけですからごくわずかな貢献ですが、我々一人一人の頑張りや集積が大きき力になるはずだと思って毎週取り組んでいます。

何か少しでも私にもできることはないか?

村井 美保子

親と離れて暮らしている子供たちの何か力になれないかと夫婦でよく話をしていました。少しばかりの寄付を主人が続けてきていましたが、子育ても終わり、お金だけでなく実際にできることはないかと考えるようになったのが、ボランティアを始めたきっかけです。

ただ、私は福祉や教育に関わる経験や知識が乏しく、直接児童と関わる自信がありませんでした。何か私の不意な声かけや行動で傷つけてしまうのが怖かったです。

そこで後方支援ならと清掃で関わらせていただくことに。スタッフの方々の仕事量は計り知れず、とても若い方々が掃除洗濯炊事全てを担当されていると知った時は大変驚きました。私は子供2人だけでも大変だったのに、ユニットには元気な子供達が大量います。これをこなすのは本当に大変だと思います。しかし、お部屋はいつ行っても綺麗で水回りの消毒まで毎日!また、子供と触れ合うスタッフの方の愛情豊かなこと。不機嫌な対応をされているのを一度たりとも見たことがありません。スタッフの方々は本当に素晴らしいと思います。私は必要ないかと思う程綺麗なお部屋ですが、何かほんの少しでもお手伝いできたらと思っています。

そして今は、学習支援でもお手伝いさせて頂いています。当初は自信がなかったのに。清掃の際、時々学校がお休みで子供達がお部屋にいる時があります。人なつっこく話しかけてきてくれる子供達が本当に愛おしく、部屋を一緒に掃除をしよう!一緒に上履きを洗おう!と関わることがになりました。子供達と色々話すうちに何を身に構えていたのだろう、と考えるようになったのです。子供が大好きで可愛く思う気持ちだけで接していけばよいのではないかと。これが正解かどうかは分かりませんが、今は学習支援に行く道すがら「今日は誰がいるのかな?」と子供達の顔を思い浮かべるのが楽しいです。ボランティアを初めて1年ですが、長く続けて行きたいと思っています。

川崎市ひとり親生活・学習支援事業

すえっ子 広場

放課後の学習・居場所支援「すえっこ広場」を川崎市から受託し7年目となりました。

- ※夏休みには特別企画として初めて社会科見学で国立科学博物館へ行きました。小学生も中学生も博物館に初めて行ったという子が多く、興味のあるコーナーで嬉しそうな表情が見られました。顔なじみの仲間と一緒に思い出に残る経験ができたようです。
- ※小学生は続々と仲間が増え、1年生から6年生まで10人の子どもたちが通ってくれています。今年はコロナ禍で途絶えていた近隣の高齢者施設との交流も再開しました。
- ※中学生は2年生4人、1年生3人が勉強をがんばっています。学習ボランティアの皆さんがそれぞれ担当の子をマンツーマンでサポートしてくださっています。「〇〇さんのおかげで数学の点数があがった」「家でも1日2時間勉強できてるよ」と子どもたちの前向きな変化が現れてきました。

食事風景→



↑近隣高齢者施設との交流



↑学習支援



↑博物館見学→



地域における公益的な取り組み

こども広場

あい
あい

4月からは新しいこどもたちと新しいスタッフを迎え、とても賑やかになっています。4人の1年生をはじめみんな元気いっぱいです。

保護者の方が食事をご一緒される機会も増えました。「帰ってからお風呂に入って寝るだけなので気持ちが楽になりました」「あいあいの皆さんと顔を合わせられて元気になれました」などのお声をいただいています。

また、中学生になった卒業生が顔を出してくれたときには、スタッフ一同とても温かい気持ちになりました。

今年度は木曜日以外に親子で楽しめる特別イベントもはじめました。みんなの居場所であるように、アイデアを出し合いながら少しずつ実現しています。



まぎぬ児童家庭支援センター

まぎぬ児童家庭支援センターでは、地域にお住いの0歳から18歳までのお子さんがいるご家庭から子育てに関するご相談を受け、必要に応じた支援を行っています。相談には、社会福祉士、臨床心理士等が対応しています。必要に応じて、訪問やオンラインでのご相談にも対応しています。

日常なお子さんとの関わりについてちょっと誰かに相談したい時、お子さんとの関わりに疲れた、保護者の方自身のお話を聞いてほしい時、お子さんに関することでどこに相談したらいいかわからない時、相談は無料ですのでお気軽にご相談ください。

また、児童養護施設 川崎愛児園が行う、2歳から小学生までのお子さんのショートステイ（宿泊預かり）・デイスティ（日中預かり）の窓口としても相談をお受けしています。

身近な場所にお子さんについて相談できる場があることが、地域の皆さんのちょっとした安心材料になれば嬉しく思います。

まぎぬ児童家庭支援センターは地域の皆さまに知っていただくきっかけとして、様々なイベントや広場を実施しています。ちょっとした息抜きや楽しみとして、ぜひお越しください。

ハロウィンリトミック



手形・足形アート



絵具あそび



絵本とおもちゃの広場



ベビーマッサージ



親子コンサート



いずれも開催日はホームページ、LINE、Instagram等でお知らせしています。

センターのことが
知りたいときは



ホームページ

お友達登録
お待ちしております！



LINEアカウント

活動写真が
いっぱい！



Instagramアカウント

乳幼児親子
のための

親子広場

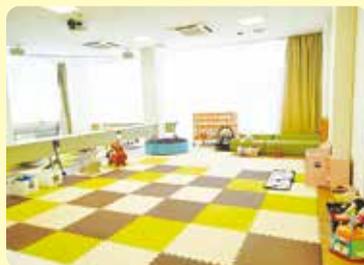
開催日：10 ページ下
二次元コード参照

以前より地域の皆さまから、当センターでも「乳幼児が遊べる広場開放を実施してほしい」というお声をいただいております。コロナ禍を経て一時的に地域の居場所が減ったことや、「土日も開放している遊び場がほしい」という声も後押しとなり、令和4年9月から「親子広場」をスタートしました。乳幼児の親子で遊べるフリースペースを毎月2回（不定期）開催し、その内の1回は土日や祝日を開催日としています。そのため、平日はお仕事などでなかなかこうした親子広場に参加しづらいお母さん・お父さんもお越しになることもあります。

児童家庭支援センターの職員がスタッフとして常駐していますので、地域資源の情報やお子さんに関するご相談があれば対応も可能です。月によってはお雛様やクリスマスツリーなど季節の飾りと一緒に写真が撮れたり、ちょっとしたお楽しみもあるかもしれません♪

無料で利用でき、予約は不要、出入り自由ですので、お散歩ついでにぜひお立ち寄りください。

乳幼児親子で遊べる
フリースペース



無料&予約不要
出入り自由です♪



中高生
のための

くつろぎ「シルクポニー」

開催日：10 ページ下
二次元コード参照

地域で以前から当センターを知ってくれている高校生になったお子さんの「中高生が気軽に集まれる場所が近くにあっていいな」という一言から、令和5年6月にスタートした中高生向けのフリースペースです。

お家とも、学校とも違う場所で、家族とも学校の友達とも違う大人や同世代の子たちと過ごす。やりたいことを持ち込んでもいいし、何にもしないでのんびりすごしてもいい。話したい時はスタッフとして常駐する大人と話すこともできる。そんなゆったりと安心できる広場になれば嬉しく思います。

現在は2カ月程度に1回の不定期開催ですが、予約は不要、出入り自由、無料で参加できます。

中学生&高校生のフリースペース♪
気軽に立ち寄ってください



無料&予約不要
出入り自由です♪



おやつ・飲み物
自由にどうぞ☆

いずれも開催日はホームページ、LINE、Instagram等でお知らせしています。

年間行事報告

4月

お花見 & BBQ
入園式
入学式

5月

こどもの日
(市長からの
プレゼント)

6月

卓球大会

7月

七夕
幼児キャンプ
小学生キャンプ

8月

野球・
ソフトボール大会
水泳大会
中高生キャンプ

10月

愛児園まつり
ハロウィン

9月

お月見

11月

駅伝大会
七五三

2月

節分

1月

春秋苑招待
新年会 & お年玉

12月

クリスマス会

3月

ひな祭 卒業式
卒業と進級を祝う会
ディズニーランド招待

令和4年度 文体行事・あすなろ作品展のご報告

書道の部
銅賞…いくん



手芸の部
金賞 神奈川県児童福祉文化
体育協会会長賞…Cさん
銀賞 横浜西ロータリークラブ
会長賞…Kくん



工芸の部
金賞 神奈川県児童福祉文化
体育協会会長賞…Nくん
銅賞…Mさん



絵画の部
銅賞…いさん、Mくん、
Rくん



あすなろ作品展

小学生男子2.4 kmの部…Yくん3位
Kくん入賞
高校生女子2.4 kmの部…Nさん優勝

送別マラソン大会

区間賞…Nさん・Hさん
団体戦男子の部…3位
団体戦女子の部…3位



駅伝大会

努力賞…Kくん・Kさん

水泳大会

高校生男子の部…Sくん準優勝
高校生女子の部…Kさん優勝

卓球大会